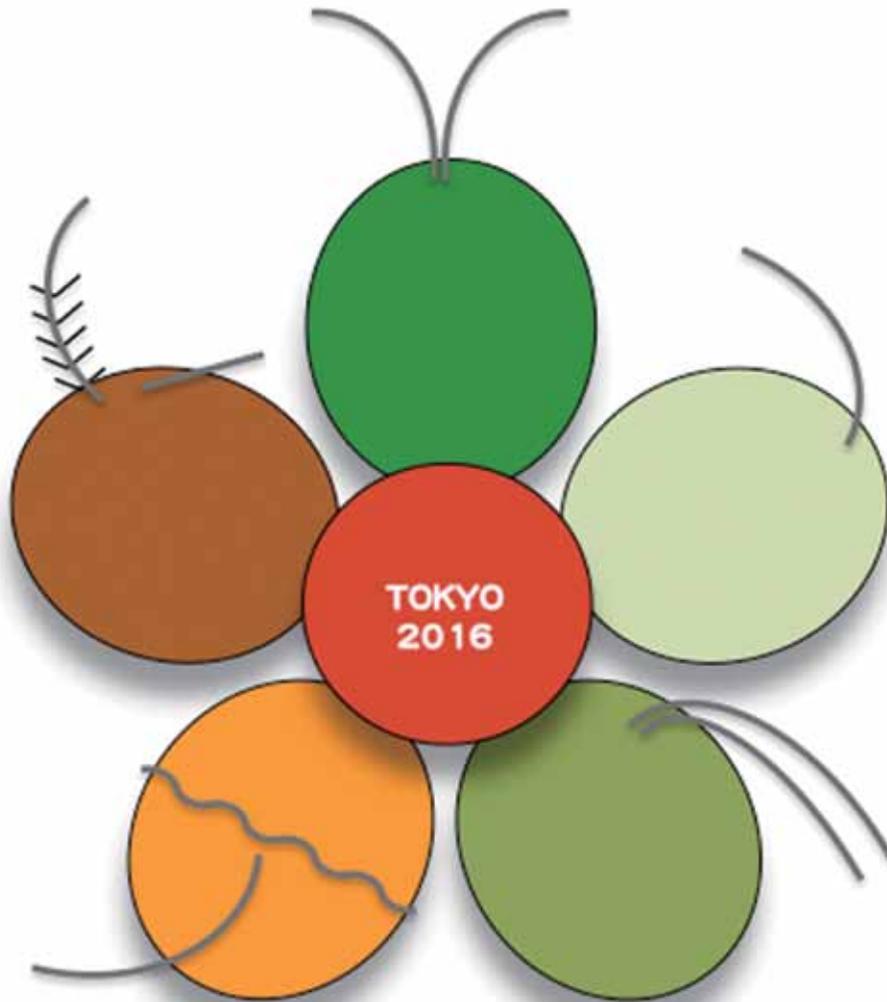


※ 2016.3.11 現在, 本 PDF が最新版であり, 雑誌「藻類」掲載のものに対して 2 演題 (B36, PB45) が追加されています

日本藻類学会第 40 回大会 東京 2016



学会会長 田中 次郎
大会会長 南雲 保

日本歯科大学 生命歯学部
(〒 102-8159 千代田区富士見 1-9-20)

2016 年 3 月 18 日 (金) ~ 20 日 (日)

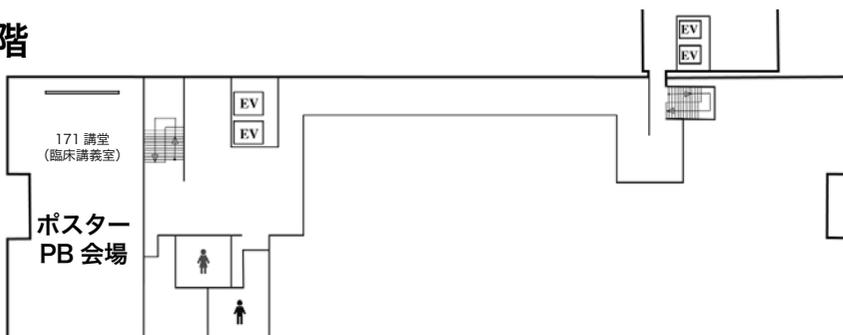
主催：日本藻類学会 共催：日本歯科大学

8階



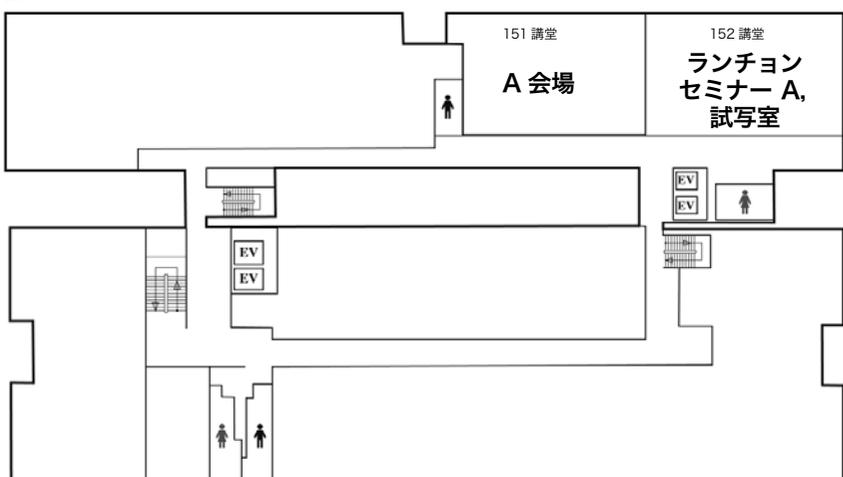
展示ホール：ポスター発表 PA 会場

7階



171 講堂：ポスター発表 PB 会場

5階



151 講堂：口頭発表 A 会場
藻類学ワークショップ
152 講堂：ランチョンセミナー A
試写室

4階



141 講堂：口頭発表 B 会場
公開特別講演会
総会
142 講堂：ランチョンセミナー B
試写室
第4会議室：編集委員会・評議員会
生物学実習室：関連集会（アルガルムムービー鑑賞会）

図 2 大会会場（100周年記念館・本館 4, 5, 7, 8階）

3階



132 講堂: 企業展示
 133 講堂: 休憩室
 134 講堂: 休憩室, 評議員控室
 135 講堂: クローク
 セミナー室: 大会本部, STAFF 室

1階



メモリアルホール: 受付, 懇親会

図 3 大会会場 (100 周年記念館・本館 1, 3 階)

5. 参加受付 (1階ホール; 図 3)

受付時間: 3月18日(金) 15:00-17:00
 3月19日(土) 8:00-17:00
 3月20日(日) 8:30-15:00

当日参加申込を受け付けます。

大会参加費: 7,000 円 (学生 4,000 円, 発表無し学生 無料)

懇親会費: 7,000 円 (学生 5,000 円)。

※受付は本館 1 階入り口を予定しています。ただし 20 日は受付場所が変更となることがあります。

6. クローク (本館 3 階 135 講堂; 図 3)

以下の時間, 荷物 (ただし, 貴重品は除く) をお預かりします。

3月19日(土) 8:00-21:00

3月20日(日) 8:30-18:00

7. 編集委員会および評議員会 (図 2)

編集委員会: 3月18日(金) 15:00-16:30

評議員会: 同 16:30-18:00
 会場: 編集委員会【本館 4 階 第 4 会議室】
 評議員会【同上】
 ※評議員控室【本館 3 階 134 講堂】
 連絡先: TEL: 03-3261-8601 (生物学教室)

8. 発表形式

(1) 口頭発表

時間: 発表 12 分, 質疑応答 3 分です。(1 鈴 10 分, 2 鈴 12 分, 3 鈴 15 分)

機器: 発表者のパソコンにつないだ液晶プロジェクター (スクリーン 2 枚) で発表していただきます。各自でパソコンをご持参ください。

・パソコンは切替器のミニ Dsub15 ピン外部出力コネクタを介して, 液晶プロジェクターと接続されます。このコネクタに対応していないパソコンを使用する場合は, 接続アダプター, 変換アダプター等を各自でご準備ください。

- ・パソコンのバッテリーだけでは液晶プロジェクターに出力できない場合がありますので、必ずパソコンに電源をとるよう、ケーブルをご用意願います。
- ・万が一に備え、発表用ファイルをコピーしたUSBメモリをお持ち下さい。発表用ファイルに静止画、動画、グラフ等のデータをリンクさせている場合は、そのデータもUSBメモリに保存して下さい。
- ・ご自分のパソコンを用意できない方は、あらかじめ準備委員会にご相談ください。

次演者の待機:次演者は次演者席で、パソコンに電源をとり、OSを立ち上げて下さい。切替器の空いているラインにパソコンを接続して待機して下さい。

- ・前演者が終わり次第、次演者はご自身で切替器のスイッチを切り替えます。パソコンのミラーリング(ディスプレイとプロジェクター両方への出力、映像出力の切替コマンドを使用)の操作はスイッチの切替後に行ってください。切替前ではミラーリングできない場合があります。

事前の動作確認:発表ファイル試写室(A, B会場の隣教室; 図2)で事前の動作確認をお願いいたします。

(2) ポスター発表

サイズ:概ね縦170cm, 横90cmの予定です。

貼付用具:ピンを大会準備委員会で用意します。

必要記載事項:ポスターの左上に発表番号、表題、氏名(所属)を記して下さい

構成:目的、実験(観察)結果、考察、結論について、それぞれ簡潔にまとめた文章をつけて下さい。

写真・図表:それぞれに簡単な説明文を添付して下さい。

フォント・図表サイズ:少し離れた場所からでも判読できるようにご配慮願います。

掲示時間:3月19日(土)8:30から掲示できます。3月20日(日)15:00までに取り外して下さい。

9. 日本藻類学会第40回東京大会 公開特別講演会

Where Do We Come From? What Are We? Where Are We Going? A South Seas view of diatom species

講演者: Prof. David G. Mann (Royal Botanic Garden Edinburgh and IRTA Sant Carles de La Rápita, Spain)

概要: David G. Mann 教授は、約40年にわたり珪藻類の分類・進化・生活史といった研究を行っています。特に形態データの解析や交配実験を取り入れた種概念に関する研究を精力的に進めており、この分野の牽引役として数多くの論文を出版しています。1999年に *Phycologia* 誌にて発表された総説「The species concept in diatoms」は、それまでの形態研究や分類、そして当時珪藻基礎研究分野では最先端であった分子生物学的データも含めた膨大な量の情報を独自の切り口でまとめた大作として知られています。この論文は、その後の珪藻研究の流れを大きく変えるほどの影響力をもち、また現在でも広く引用されています。

今回の特別講演では、このマイルストーン総説の出版以降急速に発展した集団遺伝学や生物系統地理学といった分野で得られた知見を取り入れ、2016年版 *The species concept in diatoms* について様々な角度から大いに語って頂きます。

参加費無料、事前申込不要です。皆様のご参加をお待ちしております。

日時:2016年3月19日(土)15:50-16:50

会場:日本歯科大学生命歯学部(B会場)(図2)

進行:佐藤 晋也(福井県立大)

主催:日本藻類学会第40回大会実行委員会

※詳細は p. 87 をご覧ください。

10. 藻類学ワークショップ

「光学顕微鏡法の技術向上のために」

内容:光学顕微鏡は古くから利用されている機器であるが活用するのは簡単ではない。

本ワークショップでは、光学顕微鏡の可能性を広げるために何をすべきかを、基礎を中心に概説する。特にプランクトン藻類や珪藻等のイメージングに関して主に光学的な見地から実例を示して解説を行い、画像処理法についても実演する。講義形式であるが技術向上に結びつくよう実践的な情報提供を目指す。

日時:2016年3月20日(日)お昼休みの約60分

場所:口頭発表A会場(図2)

参加費:無料(昼食を食べながらの受講可(ただし昼食は各自持参))

事前登録された方にはテキストを配付します。

事前登録:2016年3月10日までに所属とお名前を河地正伸(kawach9i@nies.go.jp)までご連絡ください。

全体世話人:河地 正伸(国立環境研究所)

問い合わせ先:E-mail: kawach9i@nies.go.jp,

TEL: 029-850-2345

11. ランチョンセミナーの開催

企業・団体によるランチョンセミナーが開催されます。ランチョンセミナー参加者には先着順で昼食を無料でお配りいたします。

開催日:2016年3月19日(土)

会場:口頭発表会場(A, B会場)隣152, 142講堂(図2)

参加方法:ランチョンセミナー参加ご希望者は、19日(土)「ランチョンセミナー参加受付」で受付をして、整理券をお受け取りください。整理券に必要事項をご記入の上、開始5分前までにランチョンセミナー会場へお越しください。

ランチョンセミナー A (A会場隣, 152講堂)

講演題目:日立SEMと藻類を中心としたアプリケーションのご紹介

講演者:坂上 万里(株式会社日立ハイテクノロジーズアプリケーション開発部)

概要:低真空SEMから大気圧SEMを使ったアプリケーションの紹介します。(イオン液体を使った藻の観察含む:予定)

ランチョンセミナー B (B会場隣, 142講堂)

講演題目:現代医療の孫の手になりつつある微細藻類 *Haematococcus pluvialis*

講演者:山下 栄次(アスタリール株式会社 メディカルニュートリション事業本部 学術担当部長)

概要:活性成分をアスタキサンチンとする微細藻類 *Haematococcus pluvialis* (淡水性単細胞緑藻)抽出物が、サプリメントや化粧品に利用され、一般消費者や医療機関に広がっている様子を紹介します。

12. 関連集会 「第2回アルガムムービー鑑賞会」

概要：発表者に藻類に関連する3-10分程度のムービーを上映していただき、それを鑑賞します。

会場：本館4階 生物学実習室 (図2)

日時：2016年3月18日(金) 16時より

コンピーナー：土金 勇樹・早川 昌志

問合せ先：土金 勇樹 (日本女子大学)

E-mail: algalmovie@gmail.com

※詳細は <https://sites.google.com/site/algalmovie/> をご覧ください。

13. 「千葉県館山の藻類採集・観察会」(参加受付終了)

概要：東京海洋大学水圏科学フィールド研究教育センター館山ステーション(坂田)で、藻類の採集と観察を行います。

日時：2016年3月20日(日)～22日(火) 2泊3日

問合せ・連絡先：鈴木 秀和 (東京海洋大学大学院)

E-mail: hsuzuki@kaiyodai.ac.jp

14. レクリエーション

テニス大会を以下のとおり開催します。

日時：2016年3月18日(金) 10:00～16:00

場所：日本歯科大学テニスコート(小金井市梶野町4-1)

連絡先：山口 晴代 (国立環境研究所)

E-mail: yamaguchi.haruyo@nies.go.jp

15. 喫煙場所について

日本歯科大学生命歯学部では、敷地内全面禁煙です。また、区条例により敷地外も禁煙です。喫煙は決められた場所のみ(JR飯田橋駅よりファミリーマート内など)でお願いいたします。

16. 休憩室でのWi-Fiについて

休憩室ではWi-Fi接続ができます。ご利用ください。

17. 問い合わせ先

〒102-8159 東京都千代田区富士見1-9-20

日本歯科大学 生命歯学部 生物学教室内

日本藻類学会第40回東京大会実行委員会 松岡 孝典

E-mail: jsp2016.tokyo@gmail.com

TEL: 03-3261-8601, FAX: 03-3261-8599

日本藻類学会第 40 回大会講演プログラム

3月19日(土) 午前の部

9:00 – 12:20 口頭発表

A 会場 (5 階 151 講堂)		B 会場 (4 階 141 講堂)	
9:00	A01 三陸沿岸における 1 年生マコンブとキタムラサキウニの生活年周期 ○八谷 光介・松本 有記雄・白藤 徳夫・佐々木 系・村岡 大祐 (水研セ・東北水研)	B01 相模湖・津久井湖に分布するボルボックス節の組成の解明に向けて ○野崎 久義・井坂 奈々子・西郷 永希子・山本 荷葉子・松崎 令 (東京大・理・生物)	
9:15	A02 磯焼け海域におけるガンガゼ個体群の摂食圧の推定 ○石川 達也・倉島 彰 (三重大院・生物資源)	B02 新規無壁二鞭毛性緑藻類と <i>Oogamochlamydia</i> 系統群における遊走子形態の進化 ○仲田 崇志・冨田 勝 (慶大・政策メディア・先端生命, 同・先端生命研)	
9:30	A03 館山産オオバモクの生殖器床の被食と再生 ○山野 旬郎・川田 健太・早川 雄飛・町田 一真・秋田 晋吾・藤田 大介 (海洋大・院・応用藻類)	B03 不動性渦鞭毛藻 <i>Cystodinedria</i> 属未記載 1 種の分類と系統 ○高橋 和也 ¹ ・齋藤 章博 ² ・原 慶明 ² ・岩滝 光儀 ³ (¹ 山形大・院・理工, ² 山形大・理・生物, ³ 東京大・アジアセンター)	
9:45	A04 人工河川に生育する紅藻フトチスジノリ <i>Thorea hispida</i> の生態学的研究 ○林 直也 ¹ ・田中 次郎 ² (¹ 株式会社東京建設コンサルタント, ² 東京海洋大学・藻類)	B04 A novel benthic <i>Heterocapsa</i> species, closely related to <i>Heterocapsa pseudotriquetra</i> ○Sohail Keegan Pinto ¹ ・Ryuta Terada ² ・Takeo Horiguchi ³ (¹ Department of Natural History Sciences, Graduate School of Science, Hokkaido University, ² Faculty of Fisheries, Kagoshima University, ³ Department of Biology, Faculty of Science, Hokkaido University)	
10:00	A05 谷津干潟でグリーンタイドを形成するミナミアオサの生理特性 ○中村 方哉 ^{1,2} ・矢部 徹 ² ・玉置 雅紀 ^{1,2} ・有田 康一 ² ・石井 裕一 ³ ・中嶋 信美 ^{1,2} (¹ 筑波大・院・生命環境, ² 国立環境研究所, ³ 都環研)	B05 Morphology and phylogeny of a new tidal pool dinoflagellate <i>Bysmatrum</i> sp. from South Africa ○Mahmutjan Dawut ¹ ・Stuart D. Sym ² ・Shoichiro Suda ³ ・Takeo Horiguchi ⁴ (¹ Graduate School of Science, Hokkaido University, ² School of Animal, Plant and Environmental Sciences, University of the Witwatersrand, ³ Faculty of Science, University of Ryukyus, ⁴ Faculty of Science, Hokkaido University)	
10:15	A06 ヒジキには self-thinning は起こらない? – 瀬戸内海・屋代島の群落特性から – ○吉田 吾郎・島袋 寛盛 (水研セ瀬戸内水研)	B06 Multi-gene phylogeny of heterotrophic heterokonts ○Rabindra Thakur・Takashi Shiratori・Ken-ichiro Ishida (University of Tsukuba, Life and Environmental Sciences)	
10:30–10:35	休憩		
10:35	A07 地盤沈下とその後の護岸工事はアラメ個体群の高齢化を進めた ○鈴木 はるか ¹ ・青木 智也 ² ・遠藤 光 ¹ ・青木 優和 ¹ ・吾妻 行雄 ¹ (¹ 東北大・院・農, ² (株)シャトー海洋調査)	B07 毛状細胞を有するスミレモ類 (アオサ藻綱) の系統・分類学的研究 ○半田 信司 ¹ ・溝淵 綾 ¹ ・大村 嘉人 ² ・中原-坪田 美保 ³ ・坪田 博美 ⁴ (¹ 広島県環境保健協会, ² 科博・植物, ³ 千葉中央博・共同研究員, ⁴ 広島大・院・理)	
10:50	A08 藻場繁茂期現存量計算のための気候学的データセットの作成 本多 正樹 (電中研)	B08 緑藻エビヤドリモ属 <i>Cladogonium</i> における複子嚢タイプの発見と新目の提唱 ○芹澤 (松山) 和世 ¹ ・今井 正 ² ・大貫 貴清 ³ ・中曾 雅之 ⁴ ・小川 拓 ⁵ ・丹羽 一夫 ⁵ ・神谷 充伸 ⁵ ・芹澤 如比古 ¹ (¹ 山梨大・教育, ² 水研セ瀬水研, ³ 東海大・海洋, ⁴ クロレラ工業, ⁵ 福井県大・院・生物資源)	
11:05	A09 アマモ場とガラモ場の生態系純一次生産量 (NEP) の年間推移 ○才津 真子 ¹ ・寺田 竜太 ² ・Gregory N. Nishihara ³ (¹ 長崎大・院・水環, ² 鹿児島大・水, ³ 長崎大・院・水環・環東シナ海セ)	B09 キセルガイの殻上に着生する藻類の分類学的研究 ○南波 紀昭 ¹ ・石田 健一郎 ² ・中山 剛 ² (¹ 筑波大・院・生命環境, ² 筑波大・生命環境系)	

- 11:20 **A10** 海藻類の光合成測定で見られる光や温度等のストレス応答について
 ○寺田 竜太¹・渡邊 裕基¹・Gregory N. Nishihara² (1 高知大・水, 2 長大・院・水環・環東シナ海セ圏)
- 11:35 **A11** アマノリ養殖における乾燥と冷凍工程が光合成活性に与える影響
 ○渡邊 裕基¹・森川 太郎²・三根 崇幸²・川村 嘉応²・伊藤 史郎²・Gregory N. Nishihara³・寺田 竜太¹ (1 鹿大・水, 2 佐賀有明水振セ, 3 長大・院・水環・環東シナ海セ)
- 11:50 **A12** 褐藻綱ナガマツモ目に属するオキナワモズク *Cladosiphon okamuranus* のゲノム解析
 ○西辻 光希¹・有本 飛鳥¹・藤江 学²・新垣 奈々²・新里 宙也¹・佐藤 矩行¹・將口 栄一¹ (1 沖縄科学技術大学院大学マリンゲノミクスユニット, 2 沖縄科学技術大学院大学 DNA シーケンシングセクション)
- 12:05 **A13** クビレズタ *Caulerpa lentillifera* のゲノムおよびメタゲノムの解析
 ○有本 飛鳥¹・西辻 光希¹・新里 宙也¹・將口 栄一¹・佐藤 矩行¹ (沖縄科学技術大学院大学マリンゲノミクスユニット)
- B10** 二分裂型 *Stichococcus* 3 株にみられる糸状体形成の有無とアラビノガラクトナンパク質局在
 ○山本 真紀¹・半田 信司²・河野 重行³ (1 専修大・自然科学研, 2 広島県環境保健協会, 3 東大・院・新領域・先端生命)
- B11** 珪藻被殻を裏打ちする有機層 diatopem の多様性と系統
 ○中村 憲章¹・真山 茂樹¹・田中 剛²・前田 義昌²・藤本 光一郎³ (1 東大・生物, 2 農工大, 3 東大・環境)
- B12** 形態と化学組成から探る円石藻 *Braarudosphaera bigelowii* の鱗片石灰化様式
 ○萩野 恭子¹・富岡 尚敏²・Jeremy R. Young³・高野 義人⁴・大沼 亮⁵・堀口 健雄⁶ (1 高知大・理, 2 JAMSTEC・高知コア研, 3 UCL, 4 中央水研, 5 遺伝研・細胞遺伝, 6 北大・院理)
- B13** 有殻アメーバ *Paulinella chromatophora* における核分裂様式の解明
 ○野村 真未¹・石田 健一郎 (筑波大 生命環境系)

12:20 – 13:20 昼休み (ランチョンセミナー A, B [5 階 152 講堂, 4 階 142 講堂])

3月19日(土) 午後の部

13:20 – 14:20 ポスター発表 (奇数番号)

PA 会場 (8 階展示ホール)

- PA01** 環境省モニタリングサイト 1000 沿岸域調査における藻場のモニタリング 2015 年の成果
 ○寺田 竜太¹・川井 浩史²・倉島 彰³・坂西 芳彦⁴・島袋 寛盛⁵・太齋 彰浩⁶・田中 次郎⁷・村瀬 昇⁸・本村 泰三⁹・青木 美鈴¹⁰・加藤 将¹¹ (1 鹿大・水, 2 神戸大・内海域セ, 3 三重大・院・生資, 4 日本海水研, 5 瀬戸水研, 6 南三陸町企画課, 7 海洋大・院・海洋科学, 8 水大校, 9 北大・北方セ, 10 日本国際湿地保全連合)
- PA03** 駿河湾産紅藻ウシケノリ目の一種について
 ○菊地 則雄¹・藤田 大介²・山田 博一³・玉城 泉也⁴・藤吉 栄次⁴・小林 正裕⁵ (1 千葉海の博物館, 2 海洋大, 3 静岡県水技研・伊豆分場, 4 西海区水研, 5 中央水研)
- PA05** ケブカダミアとよばれる紅藻ダミア属の新種について
 ○山岸 幸正¹・小亀 一弘²・三輪 泰彦³・増田 道夫³ (1 福山大・生命工, 2 北大・理, 3 北大総合博物館)
- PA07** *Chondria tenuissima* in Japan: Is it misidentified as *Chondria tenuissima* (Rhodomelaceae, Rhodophyta)?
 ○Suttikarn Sutti¹・Masaya Tani¹・Yukimasa Yamagishi²・Tsuyoshi Abe³・Kazuhiro Kogame¹ (1 Graduate School of Science, Hokkaido Univ., 2 Fac. of Life Science and Biotechnology, Fukuyama Univ., 3 University Museum, Hokkaido Univ.)
- PA09** 栃木県における大型淡水藻類の分布と生態
 ○富永 孝昭¹・坂井 広人² (1 栃木県立宇都宮高等学校, 2 栃木県立博物館)
- PA11** エビヤドリモ属 *Cladogonium* 藻類の単子嚢タイプと複子嚢タイプの分布状況
 ○芹澤 如比古¹・今井 正²・大貫 貴清³・中曾 雅之⁴・芹澤 (松山) 和世¹ (1 山梨大・教育, 2 水研セ瀬水研, 3 東海大・海洋, 4 クロレラ工業)
- PA13** 褐藻フシスジモクおよびその近縁種の分子系統学的研究
 ○丹羽 雅哉¹・鯉坂 哲朗 (京大・院・農)
- PA15** 海産大型緑藻の配偶子, 動接合子, 遊走子における眼点の大きさと生育場所との関係
 宮村 新一 (筑波大・生命環境)
- PA17** 緑藻 *Codium fragile* の培養時光条件による色素の特異的蓄積
 ○藤原 健太郎¹・大滝 宏代²・藤井 律子¹²³ (1 阪市大院・理, 2 阪市大・複合先端研, 3 JST さきがけ)
- PA19** 奄美大島産クビレズタの光合成に対する光と温度の影響
 ○中嶋 好希¹・Gregory N. Nishihara²・寺田 竜太¹ (1 鹿大・水, 2 長崎大・院・水環・環東シナ海セ)
- PA21** 加速度ロガーを用いた藻場海藻の生育に好適な流動環境の解明と評価手法
 ○島袋 寛盛¹・熊谷 直喜²・吉田 吾郎¹・加藤 亜記³ (1 水研セ瀬戸内, 2 国環研, 3 広大)
- PA23** 鹿児島県川内川産チヌシノリの光合成活性に対する光と温度の影響
 ○小園 淳平¹・Gregory N. Nishihara²・寺田 竜太¹ (1 鹿大・水, 2 長大・院・水環・環東シナ海セ)

- PA25 Isolation and characterization of an improved strain of *Porphyra chauhanii* with high-temperature resistance**
 ○Yan Xing-Hong¹, Chen Sha-Sha¹, Ding Hong-Chang¹, Aruga Yusho² (¹Shanghai Ocean University, China; ²Nishikamata 2-4-21, Ota-ku, Tokyo, Japan)
- PA27 褐藻アラメ幼体の形態と化学成分に対する温暖化・光量・栄養塩濃度の複合的な影響**
 遠藤 光 (東北大・院・農)
- PA29 LED を用いた異なる光質下でのカジメ配偶体の生長と成熟**
 ○戸瀬 太貴¹・與那覇 翔子²・倉島 彰¹ (¹三重大院・生物資源, ²三重大・生物資源)
- PA31 Attached algal flora of vertical hanging lines in Gamak Bay, Yeosu, Jeollanamdo, Korea**
 ○Man-Gu KANG¹・Myung Bae SEO²・Yeo Ho LIM¹・Jong-Ahm SHIN¹ (¹College of Fisheries and Ocean Sciences, Chonnam National University, Korea, ²Jeollanamdo Ocean&Fisheries Science Institute Yeosu Branch, Korea)
- PA33 日本海沿岸の深所に形成される海藻群落と光環境の関係について**
 ○坂西 芳彦¹・小松 輝久^{2,3} (¹水研セ・日本海区水産研究所, ²東大・大気海洋研, ³JST-CREST)
- PA35 東日本大震災由来の漂着物に着生していた海藻類の種多様性及び遺伝的多様性**
 ○羽生田 岳昭¹・Hansen Gayle I.²・川井浩史¹ (¹神戸大・内海域セ, ²オレゴン州立大)
- PA37 千葉県館山市坂田地先におけるテングサ類と葉上動物の季節消長**
 町田 一真・川田 健太・早川 雄飛・村澤 博基・山野 旬郎・秋田 晋吾・藤田 大介 (東京海洋大・応用藻類)
- PA39 千葉県館山市坂田地先の潮間帯に設けた裸地でのヒジキの季節的消長と植生の遷移**
 ○宮川 椋・秋田 晋吾・藤田 大介 (海洋大・応用藻類)
- PA41 アカモクおよびヒジキ養殖における中間育成法の検討**
 ○永松 航・桑野 和可 (長崎大・院・水環)

PB 会場 (7 階 171 講堂)

- PB01 2-MIB を産生する *Pseudanabaena* 属の分類**
 ○新山 優子・辻 彰洋 (国立科学博物館植物研究部)
- PB03 Unexpected high diversity of cyanobacteria from the University of the Ryukyus campus**
 ○Nguyen Xuan Hoa¹・Shinpei Sumimoto¹・Nguyen Thi Tra My¹・Shoichiro Suda² (¹Grad. Sch. Eng. Sci., Univ. Ryukyus, ²Fac. Sci., Univ. Ryukyus)
- PB05 関東地方周辺の海産付着藍藻相**
 ○福岡 将之¹・南雲 保²・鈴木 秀和¹・田中 次郎¹ (¹海洋大・院・藻類, ²日歯大・生物)
- PB07 生葉上藻類 *Cephaleuros* (スミレモ科, アオサ藻綱) の分子系統学的研究**
 ○中原・坪田 美保¹・半田 信司²・溝渕 綾²・原田 浩³・坪田 博美⁴ (¹千葉中央博・共同研究員, ²広島県環境保健協会, ³千葉中央博, ⁴広島大・院・理)
- PB09 南大洋インド洋セクターにおける海水中から得た珪藻類の形態分類学的研究**
 ○滝本 彩佳¹・鈴木 秀和¹・小島 本葉²・宮崎 奈穂³・茂木 正人⁴・小達 恒夫⁵・南雲 保⁶・田中 次郎¹ (¹海洋大・院・藻類, ²総研大, ³海洋大・生物海洋, ⁴海洋大・海洋生物・極地研, ⁵極地研・総研大, ⁶日歯大・生物)
- PB11 猪苗代湖 (福島県) の珪藻植生 - 特にイタケイソウ属について**
 ○高宮 麻里¹・梅原 茉愛¹・鈴木 真珠美¹・野崎 有加¹・堀 采奈¹・山口 大樹¹・豊田 健介²・松岡 孝典² (日本歯科大学・生命歯学部 ¹学生, ²生物学)
- PB13 黄緑藻 *Ophiocytium capitatum* Wolle の培地組成による形態変化**
 ○岩谷 航洋¹・小林 剛也¹・須谷 昌之¹・大谷 修司² (¹島根県立出雲高校, ²島根大・教育)
- PB15 ボルボックス科藻類の球状群体形成に必要な細胞運動**
 Paul Elvira¹・西井 一郎² (¹テマセク研, ²奈良女・理)
- PB17 Cellulose synthesis is required for regeneration of swarmer cells from ecdysal cysts in thecate dinoflagellate *Lingulodinium polyedrum***
 ○Chan W. S.・Kwok A. C. M.・Wong J. T.Y. (Division of Life Science, The Hong Kong University of Science and Technology, Clear Water Bay, Kowloon, Hong Kong SAR.)
- PB19 一大未知生物群プランクトン性ディプロネマ類 (ユーグレノゾア) の多様性解明に向けた研究**
 ○矢吹 彬憲・日下 智保・藤倉 克則 (海洋研究開発機構・海洋生物多様性研究分野)
- PB21 宿主体内で起こる共生褐虫藻の変質とクロロフィルの分解**
 ○鈴木 利幸¹・Casareto Beatriz¹・柏山 祐一郎²・鈴木 款¹ (¹静岡大・創造科学, ²福井工業大・環境情報)
- PB23 混合栄養藻類 *Rapaza viridis* の食胞内における *Tetraselmis* sp. の葉緑体分裂機構**
 ○丸山 萌¹・宮城島 進也²・洲崎 敏伸³・柏山 祐一郎^{1,4} (¹福井工大, ²遺伝研, ³神戸大, ⁴さきがけ)
- PB25 外洋表層水から分離されたピコ藻類を捕食する無色プロティストとそれらのクロロフィル代謝**
 ○四本木 彰良¹・柏山 祐一郎^{1,2,3}・近藤 竜二⁴・野牧 秀隆⁵・石川 輝⁶・木下 雄介³・民秋 均³ (¹福井工大, ²さきがけ, ³立命館大, ⁴福井県大, ⁵JAMSTEC, ⁶三重大)
- PB27 *Hatena arenicola* における内部共生体の取り込みと細胞分裂様式の微細構造観察**
 ○野村 真未・石田 健一郎 (筑波大・生命環境系)
- PB29 微細藻類の蛍光特性**
 入江 香成美 (アズビル株式会社 技術開発本部)

- PB31** 群馬県内の温泉に生息する温泉生物，特に藻類と温泉の泉質の関係について—中高生の科学研究実践活動推進プログラムの一環として—
○今井 ひまり¹・杉村 天¹・植栗 慧¹・中村 卓雄¹・長島 秀行² (¹群馬県立尾瀬高等学校，²東京理科大学理学部)
- PB33** 霞ヶ浦で優占するシアノバクテリア *Microcystis aeruginosa* グループ G 株のゲノム解析
○山口 晴代¹・鈴木 重勝²・田辺 雄彦³・長名 保範⁴・志村 遥平¹・石田 健一郎³・河地 正伸¹ (¹国立環境研究所，²筑波大・院・生命環境，³筑波大・生命環境，⁴琉球大・工学)
- PB35** *Cyanothece* sp. Viet Nam 01 と *Cyanothece* sp. PCC7822 の金属耐性と金属吸着性の比較
○大山 聡士・牧 しづか・松川 雅仁・大城 香・吉川 伸哉 (福島県大・海洋)
- PB37** 陸棲ラン藻 *Nostoc commune* (イシクラゲ) の多型
○坂本 敏夫¹・坂本 香織²・和田 直樹¹・松郷 誠一¹ (¹金沢大・理工・自然システム，²金沢工大・バイオ・化学・応用バイオ)
- PB39** 窒素固定能を有するシアノバクテリアによる多糖類生産
○内田 有寿・望月 佑亮・伊原 正喜 (信州大学農学部)
- PB41** 福島県南相馬市におけるレースウェイポンドの生物相調査
○吉田 昌樹^{1,2,3}・横山 亜紀子²・出村 幹英²・玉川 雄一⁴・渡邊 信^{2,3}・井上 勲^{3,5} (¹筑波大・院・生命環境，²筑波大・ABES，³藻類産業創成コンソーシアム，⁴藻バイオテクノロジーズ，⁵筑波大)
- PB43** 宍道湖産植物プランクトンの培養株保存とその応用研究
○大谷 修司¹・石橋 圭子¹・神門 利之²・崎 幸子³・野尻 由香里³・佐藤 紗知子³・嵯峨 友樹³・辻谷 睦巳⁴・丸山 将輝⁵・菅井 隆吉⁶・志村 遥平⁷・河地 正伸⁷ (¹島根大・教育，²島根県環境政策課，³島根県保環研，⁴鳥取大学大学院連合農学研究科，⁵島根大・生物資源科，⁶島根県環境保健公社，⁷国立環境研)
- PB45** 高増殖ラビリンチュラ類の効果的な分離法の検討
○高橋 和也¹・土井 耕作^{2,3}・岩田 いづみ^{2,3}・浜本 洋子²・石橋 真由²・秋山 達哉¹・伊野部 真緒¹・佐藤 正和¹・池田 啓二⁴・河地 正伸⁴・本多大輔^{1,3} (¹甲南大・理工・生物，²甲南大・院・自然科学，³甲南大・統合ニューロ研，⁴国立環境研究所)

14:30 – 15:45 口頭発表

A 会場 (5 階 151 講堂)		B 会場 (4 階 141 講堂)	
14:30	A14 褐藻における雄性配偶子の走化性～同形・異形配偶子接合と卵生殖の比較解析～ ○木ノ下 菜々 ¹ ・長里 千香子 ² ・本村 泰三 ² (¹ 北海道大学・院・環境科学， ² 北海道大学・北方セ)	B14 クロララクニオン藻における日周期による遺伝子発現プロファイル ○鈴木 重勝 ¹ ・石田 健一郎 ² ・平川 泰久 ² (¹ 筑波大・院・生命環境， ² 筑波大・生命環境系)	
14:45	A15 バロニアのレンズ状細胞における細胞成長異方性と細胞壁構造 ○峯 一期 ¹ ・井上 悠祐 ² ・山本 卓司 ² ・奥田 一雄 ¹ (¹ 高知大・院・黒潮圏， ² 高知大・理・生物科学)	B15 葉緑体を置換した渦鞭毛藻の葉緑体関連代謝系における EGT の傾向 ○松尾 恵梨子 ¹ ・稲垣 祐司 ² (¹ 筑波大院・生命環境， ² 筑波大・計算科学セ)	
15:00	A16 多核緑藻サイノメアミハの分割細胞分裂と細胞骨格 岩淵 美紗 ¹ ・神谷 充伸 ² ・関田 諭子 ³ ・○奥田 一雄 ³ (¹ 高知大・理・生物科学， ² 福島県立大・海洋生物資源， ³ 高知大・黒潮圏)	B16 トレボウクシア藻綱 <i>Prototheca</i> 属 2 種の無色葉緑体ゲノムの解読 鈴木 重勝 ¹ ・遠藤 力也 ² ・眞鍋 理一郎 ³ ・大熊 盛也 ² ・○平川 泰久 ⁴ (¹ 筑波大・院・生命環境， ² 理研・BRC・JCM， ³ 理研・CLST・DGT， ⁴ 筑波大・生命環境系)	
15:15	A17 傷害を受けた褐藻アミジグサの組織癒合についての研究 ○田中 厚子・長里 千香子・本村 泰三 (北大・北方セ)	B17 非光合成性珪藻類無色葉緑体における機能 ○神川 龍馬 ¹ ・Stefan Zauner ² ・Uwe Maier ² ・Daniel Moog ³ ・John M. Archibald ³ ・Andrew J. Roger ³ ・真山 茂樹 ⁴ ・石田 健一郎 ⁵ ・宮下 英明 ¹ ・稲垣 祐司 ⁵ (¹ 京大院， ² Philipps Univ.， ³ Dalhousie Univ.， ⁴ 東京学芸大， ⁵ 筑波大院)	
15:30	A18 ヒロハノヒトエグサの成長と成熟に対する形態形成誘導物質サルーシンの影響 ○木下 優太郎 ¹ ・山本 博文 ² ・平岡 雅規 ³ (¹ 高知大・院・理， ² 徳島文理大・薬， ³ 高知大・総研セ)	B18 <i>Rhopalodia</i> 科珪藻細胞内共生体の比較ゲノム解析 ○中山 卓郎 ¹ ・稲垣 祐司 ^{1,2} (¹ 筑波大・計算科学研究センター， ² 筑波大・生命環境系)	

15:50 – 16:50 公開特別講演会「Where Do We Come From? What Are We? Where Are We Going? A South Seas view of diatom species」(B 会場)

Prof. David G. Mann (Royal Botanic Garden Edinburgh and IRTA Sant Carles de La Rápita, Spain)

17:00 – 18:00 総会 (B 会場)

18:30 – 20:45 懇親会 (本館 1 階 メモリアルホール)

3月20日(日) 午前の部

9:00 – 12:05 口頭発表

A会場(5階151講堂)

B会場(4階141講堂)

- 9:00 **A19** *Ulva partita* ゲノムの雌雄特異的領域にある遺伝子とその発現パターン
 ○清水 恭夫¹・山崎 誠和¹・大田 修平¹・市原 健介^{1,2}・鈴木 亮吾¹・宮村 新一³・桑野 和可⁴・河野 重行¹ (1 東京大・院・新領域, 2 JSPS・PD, 3 筑波大・生命環境, 4 長崎大・水産)
- 9:15 **A20** 緑藻シアオノリに見られるアポミクシスの解析
 ○市原 健介^{1,2}・宮村 新一³・平岡 雅規⁴・河野 重行¹ (1 東大・新領域, 2 JSPS・PD, 3 筑波大・生命環境, 4 高知大・海洋研)
- 9:30 **A21** 無性型シアオノリ (*Ulva prolifera*) の遺伝子型間における淡水耐性の違い
 ○小川 拓・神谷 充伸 (福井県大・海洋生物)
- 9:45 **A22** アオコ形成ラン藻 *Microcystis aeruginosa* の汽水適応のゲノム基盤
 ○田辺 雄彦¹・程木 義邦² (1 筑波大・生命環境, 2 京大・生態研)
- 10:00 **A23** RNA-seq による褐藻アカモク (*Sargassum horneri*) の青色光受容体の解析
 ○吉川 伸哉¹・細川 真美¹・上井 進也²・奥田 修二郎³・笠原 賢洋⁴・高橋 文雄⁴ (1 福井県大・海洋, 2 新潟大・理, 3 新潟大・医歯, 4 立命館・生命)
- 10:15 **A24** 次世代シーケンサーによる transcriptome データを用いた褐藻類の secretome 解析
 ○寺内 真¹・山岸 隆博²・川井 浩史³ (1 神戸大・研究環, 2 環境研, 3 神戸大・内海域セ)
- 10:30–10:35 休憩
- 10:35 **A25** 大型藻類における配偶体/孢子体相対サイズ進化についての理論的研究
 ○別所 和博^{1,2}・Sarah P. Otto² (1 海外特別研究員, 2 The University of British Columbia)
- 10:50 **A26** New additions to the seaweed flora of Japan: *Hydroclathrus stephanosorus* and *H. tumulis* (Scytosiphonaceae, Phaeophyceae)
 ○Wilfred John E. Santiañez・Kazuhiro Kogame (Graduate School of Science, Hokkaido Univ.)
- 11:05 **A27** Systematic study of *Membranoptera* (Ceramilales, Rhodophyta) from the Northeastern Pacific
 ○Jeffery R. Hughey¹・Max H. Hommersand²・Paul W. Gabrielson²・Kathy Ann Miller³・Timothy Fuller¹ (1 Hartnell College, 2 University of North Carolina at Chapel Hill, 3 University of California at Berkeley)
- 9:00 **B19** 二次植物ユーグレナが色素体を処分するとき
 ○柏山 祐一郎^{1,2,3}・川原 純¹・丸山 萌¹・中澤 昌美⁴・石川 孝博⁵・民秋 均³・洲崎 敏伸⁶ (1 福井工大, 2 さきがけ, 3 立命館大, 4 大阪府大, 5 島根大, 6 神戸大)
- 9:15 **B20** 藻食性プロティストにおけるクロロフィル分解代謝機構解明に向けた可視化アプローチ
 ○横山 亜紀子¹・丸山 萌²・白鳥 峻志³・柏山 祐一郎^{2,4} (1 筑波大・ABES, 2 福井工大・環境情報, 3 筑波大・院・生命環境, 4 さきがけ)
- 9:30 **B21** MV-Chl *b* を有する原核緑藻 *Prochlorococcus* の発見
 ○小松 悠久¹・河地 正伸²・佐藤 真由美²・宮下 英明³・渡辺 正⁴・小池 裕幸⁵・塙 優⁶・白岩 善博⁶・小林 正美¹ (1 筑波大・物質工学科, 2 国立環境研究所, 3 京都大学大学院・人間・環境, 4 東京理科大・総合教育, 5 中央大・生命科学, 6 筑波大・生命環境)
- 9:45 **B22** クロロフィル *e* は 15^l-OH-lactone Chl *a* または Chlide *a* ?
 ○反町 優太¹・神定 輝光¹・仲里 正孝²・宮下 英明³・小林 正美¹ (1 筑波大・物質工学科, 2 クロロフィル研究所, 3 京大院・人間環境)
- 10:00 **B23** クロロフィルの物性評価
 ○和田 勝宏¹・小松 悠久¹・藤沼 大幹¹・渡辺 正²・大久保 智司³・宮下 英明³・塙 優⁴・白岩 善博⁴・佐藤 真由美⁵・河地 正伸⁵・小林 正美¹ (1 筑波大・物質工学科, 2 東京理科大・総合教育機構, 3 京都大学大学院・人間・環境, 4 筑波大・生命環境, 5 国立環境研究所)
- 10:15 **B24** 強光に対する海産珪藻の光保護適応について
 ○片山 智代・田口 哲 (創価大・理工)
- 10:35 **B25** 褐虫藻3種のゲノムとその多様性
 ○將口 栄一・新里 宙也・久田 香奈子・佐藤 矩行 (沖縄科学技術大学院大学マリンゲノミクスユニット)
- 10:50 **B26** ラビリンチュラ類を特徴付けるボスロソームの形成過程におけるアクチンの局在の変化の観察
 ○岩田 いづみ^{1,2}・木村 圭³・外丸 裕司⁴・本村 泰三⁵・小池 香苗⁶・小池 一彦⁷・本多 大輔^{2,8} (1 甲南大院・自然科学, 2 甲南大・統合ニューロ研, 3 佐賀大・低平地沿岸セ, 4 水研セ・瀬戸水研, 5 北大・北方セ, 6 広島大・技術センター・自然科学研究支援開発センター, 7 廣大・生物圏, 8 甲南大・理工)
- 11:05 **B27** ラビリンチュラ類 *Aplanochytrium* の珪藻からの寄生的な栄養摂取
 ○浜本 洋子¹・本多 大輔^{2,3} (1 甲南大・院・自然科学, 2 甲南大・理工・生物, 3 甲南大・総合ニューロ研)

- 11:20 **A28** 褐藻コンブ目アナメ科の分子系統学的解析と属レベルの分類の再検討
 ○川井 浩史¹・羽生田 岳昭¹・高 旭¹・宮田 昌彦²・N. Klochkova³・K.A. Miller⁴・S. Lindstrom⁵ (1神戸大・内海域, 2千葉県博, 3Kamchatka State Technical Univ., 4Univ. Berkeley, 5Univ. British Columbi)
- 11:35 **A29** 大型藻類の系統地理学的解析
 ○寫田 智¹・榎本 葵¹・河口 莉子¹・堀内 はるな¹・岩崎 貴也² (1お茶大・ライフサイエンス, 2京都大・生態研)
- 11:50 **A30** ヒメミカヅキモにおける組換え型性フェロモンを用いた生殖隔離障壁の解析
 ○土金 勇樹・吉田 睦未・関本 弘之 (日本女子大・理)
- B28** 長期間にわたる高頻度調査に基づいた珪藻とウイルスの生態学的研究
 ○木村 圭¹・外丸 裕司² (1佐賀大低平沿岸セ, 2水研セ瀬戸水研)
- B29** メソコスムによる *Karenia mikimotoi* の日周鉛直移動について
 ○平江 想¹・山砥 稔文¹・石田 直也²・小池 一彦³・青木 一弘⁴ (1長崎水試, 2対馬水産業普及指導センター, 3広大院生物圏科, 4水研セ中央水研)
- B30** イメージサイトメーターを用いた赤潮藻 *Karenia mikimotoi* の死細胞検出
 ○外丸 裕司¹・木村 圭²・山口 晴生³ (1水研セ瀬戸水研, 2佐賀大学・低平沿岸セ, 3高知大農)

12:05 – 13:20 昼休み

12:20 – 13:20 藻類学ワークショップ | 「光学顕微鏡法の技術向上のために」 (A 会場)

3月20日(日) 午後の部

13:20 – 14:20 ポスター発表 (偶数番号)

PA 会場 (8 階展示ホール)

- PA02** 伊豆半島における海洋植物の多様性調査
 ○山崎 麻子・伊藤 舞花・寫田 智 (お茶の水女子大学)
- PA04** エキシカータ標本集の編集過程で見いだされた日本新産紅藻 *Yoshizakia indopacifica* について
 ○北山 太樹¹・林 綉美² (1国立科博, 2臺灣國立海洋大學海洋研究所)
- PA06** 日本産紅藻トサカノリに含まれる「うばとさか」の分類学的研究
 ○岩切 彰吾¹・川口 栄男²・栗原 暁² (1九州大・院・生資環, 2九州大・院・農)
- PA08** 岐阜県におけるカワモズク類の分布と生態
 津田 格 (岐阜県立森林文化アカデミー)
- PA10** 日本とオーストラリアから発見された車軸藻類シャジクモ属の新種の形態, 系統, 分類
 ○坂本 英俊¹・Michelle T. Casanova²・Kenneth G. Karol³・加藤 将⁴・樋口 澄男⁵・野崎 久義⁶・川井 浩史⁷ (1神戸大・院・理, 2Royal Botanic Gardens・Melbourne, 3New York Botanical Garden, 4WJ, 5長野県環境保全研, 6東大・院・理, 7神戸大・内海域セ)
- PA12** 長崎県壱岐沿岸で採集されたカジメ類の交雑体における分子同定の試み
 ○秋田 晋吾^{1,2}・小祝 敬一郎³・清本 節夫⁴・吉村 拓⁴・近藤 秀裕³・廣野 育生³・藤田 大介¹ (1東京海洋大学・院・応用藻類, 2日本学術振興会特別研究員・DC1, 3東京海洋大学・院・ゲノム科学, 4西海区水研セ・資源生産)
- PA14** 黄緑藻綱フシナシミドロ属日本新産種 *Vaucheria piloboloides* の生育状況
 ○山本 正之¹・志田尾 耕三²・富田 伸明²・菊本 憲文²・下西 孝³・二宮 早由子⁴・長井 隆⁵・香村 眞徳⁶ (1海生研, 2中国電力, 3中電環境テクノス, 4東京久米, 5沖縄県環境科学センター, 6琉球大名誉教授)
- PA16** 多核緑藻ホソバロニアの再生
 ○小山 知洋・鈴木 秀和・田中 次郎 (東京海洋大・院・藻類)
- PA18** *Codium fragile* cultivation in Jindo, Jeollanamdo, Korea
 ○Jong-Ahm SHIN・Yeo Ho LIM・Man-Gu KANG・Su Yeon LIM (College of Fisheries and Ocean Sciences, Chonnam National University, Korea)
- PA20** 千葉県坂田地先におけるヒトエグサの季節的消長及び東京湾運河水を用いた培養
 ○叶 峰・藤田 大介 (東京海洋大学・海洋科学)
- PA22** Thermal and PAR effects on the photosynthesis of *Eucheuma denticulatum* and *Kappaphycus striatus* (Sacol strain) cultivated in shallow bottom of Bali, Indonesia
 ○Iris Ann Borlongan¹・Grevo S. Gerung⁴・Shigeo Kawaguchi³・Gregory N. Nishihara²・Ryuta Terada¹ (1 Faculty of Fisheries, Kagoshima University, 2 Institute for East China Sea Research, Graduate School of Fisheries Science and Environmental Studies, Nagasaki University, 3 Faculty of Agriculture, Kyushu University, 4 Faculty of Fisheries and Marine Science, Sam Ratulangi University, Indonesia)
- PA24** *Pyropia* growth and its aquafarm environment in Jangheung, Jeollanamdo, Korea
 ○Su Yeon LIM・Man-Gu KANG・Uk JANG・Jeong-Ho LEE・Jong-Ahm SHIN (College of Fisheries and Ocean Sciences, Chonnam National University, Korea)

- PA26** 山口県産カイガラアマノリ葉状体の生長と光合成に及ぼす光質の影響
○村瀬 昇¹・阿部 真比古¹・鹿野 陽介² (¹水大校, ²山口県水研セ)
- PA28** 鹿児島湾におけるヤツタモクの光合成に対する光と温度の影響
○松本 和也¹・Gregory N.Nishihara²・寺田 竜太¹ (¹鹿大・水, ²長崎大・院・水環・環東シナ海セ)
- PA30** 瀬戸内海西部のニホンアワサンゴ群生地における海藻群落構造
嶋大磯¹・加藤 亜記¹・小池 一彦¹・藤本 正明²・島袋 寛盛³・吉田 吾郎³ (¹広島大・生物圏, ²NPO 自然と釣りのネットワーク, ³瀬戸内水研)
- PA32** 富士五湖で 2015 年に確認された水草・大型藻類と過去との比較
○中村 誠司・上嶋 崇嗣・芹澤 (松山) 和世・芹澤 如比古 (山梨大・教育)
- PA34** 富士五湖における現在の水生植物を取り巻く光環境
○上嶋 崇嗣・中村 誠司・芹澤 (松山) 和世・芹澤 如比古 (山梨大・教育)
- PA36** 三陸沿岸の異なるコンブ目群落における東日本大震災の影響比較
○村岡 大祐¹・玉置 仁²・高見 秀輝¹・栗田 豊¹・河村 知彦³ (¹水研セ・東北水研, ²石巻専修大学, ³東大気海洋研)
- PA38** 国内大型褐藻 30 種の温暖化に伴う分布変化
○熊谷 直喜¹・山野 博哉¹・藤井 賢彦²・山中 康裕² (¹国立環境研・生物セ, ²北大院・地球環境)
- PA40** 重イオンビーム育種技術を用いた三陸産ワカメの優良系統開発
○佐藤 陽一^{1,2,3}・平野 智也^{2,4}・村上 素子²・伊藤 泰¹・最上谷 美穂¹・佐々木 直子¹・菅原 美加¹・市田 裕之²・福西 暢尚²・阿部 知子²・河野 重行³ (¹理研食品 (株), ²理研仁科, ³東大・院・新領域, ⁴宮崎大農)
- PA42** アラメに対する養殖用ペレットの成長抑制効果
○柴田 康弘・桑野 和可 (長崎大・院・水環)

PB 会場 (7 階 171 講堂)

- PB02** *Pseudanabaena* 属における 2-MIB 産生遺伝子の分布について
○辻 彰洋・新山 優子 (国立科学博物館植物研究部)
- PB04** Characterization of Black Band Disease (BBD) related cyanobacteria from Okinawa
○Philipus Uli Basa Hutabatat¹・Nguyen Xuan Hoa¹・Shoichiro Suda² (¹Grad. Sch. Eng. Sci., Univ. Ryukyus, ²Fac. Sci., Univ. Ryukyus)
- PB06** *Trentepohlia rigidula* と *T. monile* (スミレモ科, アオサ藻綱) の分類学的再検討
○溝淵 綾¹・半田 信司¹・大村 嘉人²・正田 いずみ³・中原 坪田 美保⁴・坪田 博美³ (¹広島県環境保健協会, ²科博・植物, ³広島大・院・理, ⁴千葉中央博・共同研究員)
- PB08** 田沢湖底質コアから見出された珪藻群集
○田中 宏之¹・片野 登²・南雲 保³ (¹前橋珪藻研, ²秋田県立大, ³日本歯科大, 生物)
- PB10** 西部太平洋およびインド洋東部における珪藻群集による生物地理学的研究
○藤田 諒平・リチャード・W・ジョルダン (山形大学・理学部・地球環境学科)
- PB12** 中学校における顕微鏡観察の実際と課題 - 珪藻を用いた授業の一試み -
○柳田 晶代¹・石田 健一郎² (¹筑波大・院・教育, ²筑波大・生命環境)
- PB14** アストレフォメネ (緑藻綱ボルボックス目) における反転を伴わない球状群体形成の細胞学的解析
○山下 翔大¹・新垣 陽子¹・豊岡 博子¹・廣野 雅文²・野崎 久義¹ (¹東京大学大学院理学系研究科, ²法政大学生命科学部)
- PB16** ボルボックス非モデル種のヘテロタリック及びホモタリックにおける MID オーソログ解析
○山本 荷葉子・豊岡 博子・森 稔幸・野崎 久義 (東京大・院理・生物)
- PB18** A novel family of cell wall protein involved in biogenesis of cellulosic thecal plates in dinoflagellate
○Kwok A.C.M.・Chan W.S.・Yuan W.・Wong J.T.Y. (Division of Life Science, The Hong Kong University of Science and Technology, Clear Water Bay, Kowloon, Hong Kong SAR)
- PB20** 核 ITS 領域の比較解析に基づく日本近海の造礁サンゴ共生褐虫藻の組成調査
○松崎 令・出村 幹英・山口 晴代・杉原 薫・山野 博哉・河地 正伸 (国立環境研究所)
- PB22** 地衣体内における地衣共生藻類の微視的分布
○池田 彬人¹・堀口 健雄² (¹北大・理学院・自然史科学, ²北大・理学研究院・生物科学)
- PB24** 混合栄養藻類 *Euglena gracilis* の光合成に関連した細胞内リソース配分のダイナミクス
○岡島 圭佑¹・柏山 祐一郎^{1,2} (¹福井工大, ²さががけ)
- PB26** 琵琶湖から採取された藻類共生繊毛虫 *Cyclotrichium* spp. について
○保科 亮¹・楠岡 泰² (¹長浜バイオ大バイオサイエンス, ²琵琶湖博物館)
- PB28** クリプト藻 *Guillardia theta* の葉緑体分裂と共生藻細胞周期による分裂制御機構の解明
○大沼 亮・宮城島 進也 (遺伝研・細胞遺伝)
- PB30** 教養教育のための構内ビオトープ池の創生と微細藻類に着目した教材の開発
○幡野 恭子¹・田中 学² (¹京大・院・人環, ²京産大・総合生命)
- PB32** 沖縄県石垣島北部海域で確認された海水の着色現象
○山下 洋¹・町口 裕之² (¹水産総合研究センター西海区水産研究所, ²水産総合研究センター北海道区水産研究所)
- PB34** シアノバクテリア *Synechocystis* sp. PCC 6803 のリン酸輸送体変異株を用いたヒ素耐性機構の解明
○室田 知里¹・辻下 真紀¹・山下 貴矢¹・松本 寛子¹・西 弘貴¹・佐藤 典裕^{1,2}・藤原 祥子^{1,2}・都筑 幹夫^{1,2} (¹東京薬科大学生命科学部, ²JST, CREST)

- PB36** 高いオイル蓄積能を有する新規 *Chlamydomonas* sp. 株の生育特性とオイル蓄積の誘導
○加山 基¹・柏山 祐一郎^{1,2} (1福井工大, 2さきかけ, 3立命館大)
- PB38** 食用藍藻 *Arthrospira* (スピルリナ) の種々の株における, 凍結保存の至適条件の多様性
白石 英秋 (京大院・生命)
- PB40** 異種 1-deoxy-D-xylulose 5-phosphate synthases 発現による *Synechocystis* sp. PCC 6803 のイソプレノイド生産の増幅
○窪田 弦馬・工藤 海・伊原 正喜 (信州大学農学部)
- PB42** 福島県南相馬産藻類コレクションの脂肪酸組成プロファイリング
○横山 亜紀子¹・伊藤 順子¹・出村 幹英¹・井上 勲^{1,2}・渡邊 信¹ (1筑波大・ABES, 2藻類産業創成コンソーシアム)
- PB44** NBRP 藻類 - 多様な藻類リソースの収集・保存・提供 -
○河地 正伸¹・志村 遥平¹・川井 浩史²・寺内 真²・中山 剛³・石田 健一郎³・小亀 一弘⁴ (1国立環境研究所, 2神戸大学内海域環境教育研究センター, 3筑波大学生命環境系, 4北海道大学理学研究院)

14:30 - 16:00 口頭発表

A 会場 (5 階 151 講堂)

B 会場 (4 階 141 講堂)

- 14:30 **A31** 夏季オホーツク海南西域の異なる水塊における植物プランクトン群集
○渡辺 剛¹・葛西 広海²・谷内 由貴子²・黒田 寛²・桑田 晃¹ (1東北水研, 2北水研)
- 14:45 **A32** 奄美大島役勝川の栄養塩供給源はどこにあるのか
○阿部 信一郎¹・藁田 孝晴¹・黒田 暁²・井口 恵一朗² (1茨大, 2長崎大)
- 15:00 **A33** 陸域栄養塩供給の積極施肥による褐藻類ノコギリモクの幼体の野外における成長評価
○井上 幸男¹・明戸 剛²・伊賀 剛³・和田 実⁵・土屋 健司⁴・戸田 龍樹⁴・Gregory N. Nishihara⁵ (1長崎大・院・水, 2太平洋セメント・株, 3新上五島町役場, 4創価大・工, 5長崎大・院・水環・環東シナ海セ)
- 15:15 **A34** 生物膜透過水を用いた褐藻類 *Ishige okamurae* の生長特性の評価
○大竹 正弘¹・明戸 剛²・伊賀 剛³・土屋 健司¹・戸田 龍樹¹ (1創価大・院・工, 2太平洋セメント・株, 3新上五島町役場)
- 15:30 **A35** ケイ酸カルシウム系リン吸着材由来の栄養塩添加による紅藻類マクサ *Gelidium elegans* の生長評価
○栗田 陸矢¹・明戸 剛²・伊賀 剛³・土屋 健司¹・片山 智代¹・戸田 龍樹¹ (1創価大・工, 2太平洋セメント・株, 3新上五島町)
- 15:45 **A36** A European perspective on seaweed uses: historical, present and future
Jessica Adams (Institute of Biological, Environmental and Rural Sciences (IBERS), Aberystwyth University)
- B31** 微細藻類 *Arthrospira platensis* を用いたアルカリ性高炭酸塩培地による CO₂ 回収プロセス
○山田 幸奈¹・岸 正敏²・片山 智代¹・戸田 龍樹² (1創価大・工, 2創価大院・工)
- B32** *Nostoc* 属ラン藻のマイコスポリン様アミノ酸 (MAA) 生合成遺伝子の比較解析
○坂本 香織¹・兼崎 友²・吉川 博文³・坂本 敏夫⁴ (1金沢工大・バイオ・化学・応用バイオ, 2東京農大・ゲノム解析セ, 3東京農大・バイオ, 4金沢大・理工・自然システム)
- B33** 陸棲ラン藻 *Nostoc commune* 由来の新規マイコスポリン様アミノ酸誘導体の単離
○橋本 茜¹・和田 直樹¹・西内 巧²・坂本 敏夫³・松郷 誠一¹ (1金沢大学院・自然科学・自然システム学・バイオ工学, 2金沢大学・学際科学実験センター・ゲノム機能解析分野, 3金沢大学院・自然科学・自然システム学・生命システム)
- B34** スイゼンジノリ (*Aphanothece sacrum*) 分離株の増殖特性と細胞外多糖生産能の解析
○鈴木 謙之¹・一宮 陸雄²・岡島 麻衣子³・金子 達雄³・吉川 伸哉¹・大城 香¹ (1福井県大・海洋, 2熊本県大・環境, 3北陸先端大・マテリアルサイエンス)
- B35** イオウ飢餓で誘導されるクロレラのオイル蓄積とミトコンドリアと葉緑体のオートファジー
○大田 修平^{1,2}・吉原 真衣¹・山崎 誠和^{1,2}・大島 健志朗³・服部 正平³・平田 愛子¹・河野 重行^{1,2} (1東京大・院・新領域・先端生命, 2JST-CREST, 3東京大・院・新領域・オーミクス情報センター)
- B36** 藻類オイルに対するクロロフィル *a, b, d* およびフェオフィオーバイド *a, b* の溶解性
○神定 輝光¹・反町 優太¹・小松 悠久¹・仲里 正孝²・渡辺 信³・出村 幹英³・吉田 昌樹³・小林 正美¹ (1筑波大学物質工学域, 2クロロフィル研究所, 3筑波大学生命環境系)